

8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる

① 教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実

現状と課題

- 核家族化の進行や女性の社会進出、高齢者雇用の増加など社会環境の変化に伴い、働く保護者が大きく増えています。
- 認定こども園は、幼稚園と保育所の機能をあわせ持ち、保護者の就労に関わりなく、継続して利用できる施設であることから、移行を促していく必要があります。
- すべての子どもの健やかな育ちを実現するため、教育・保育の一体的提供を推進するとともに、多様な子育て支援サービスが求められています。

施策の展開

認定こども園への移行推進

- 就学前の教育・保育を一体的に捉え、保護者の就労状況に関わらず教育・保育を一体的に提供する認定こども園への移行を推進します。

多様な保育サービスの充実

- 利用者の保育ニーズに基づき必要とされるサービスの重点的確保に努め、多様な保育サービスの更なる充実を目指します。

教育・保育の質を高める取り組みの推進

- 教育・保育の質を高めるため、認定こども園、幼稚園、保育所等の機能の充実、サービスの担い手の質の向上等に取り組めます。
- 幼児期の認定こども園、幼稚園、保育所等の生活から、学童期の小学校生活へスムーズに移行できるよう、児童の交流や職員の意見交換など、小学校への円滑な接続に向けた取り組みを行います。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
認定こども園の数	4 園	14 園
病児保育（病児対応型及び病後児対応型）事業実施施設数	3 施設	4 施設

主な事業	
認定こども園への移行推進	・ 認定こども園への移行、施設整備
多様な保育サービスの充実	・ 多様な保育サービスへの支援(病児対応、延長保育、病後児保育、一時預かり等) ・ 多機能型保育園の整備検討
教育・保育の質を高める取り組みの推進	・ 保育所への看護師の配置、児童の健康管理等 ・ 職員の資質向上のための研修受講の推進 ・ 子どもの生活環境向上のための保育所の整備

8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる

② 新たな子育て情報提供システムの構築

現状と課題

- 子ども・子育てに必要な情報を、必要とときに得られることは、子育てに対する安心感に繋がることから、子ども・子育てに関する情報が、総合的にわかりやすく提供されることが求められています。

施策の展開

子育て情報提供システムの構築

- 子ども・子育てに関する情報や利用できるサービス等の情報を Web ページやスマートフォン用アプリ、パンフレット等の多様な方法で取得できる新たな行政情報提供サービスの仕組みづくりに努めます。

子育て相談・親同士の交流の場の充実

- 子どもを生み育てようとする人や子育てを行っている親の不安や負担感の軽減を図るため、いつでも安心して気軽に相談したり、親同士が交流し情報交換ができる場や機会の充実に努めます。
- 様々な相談に対応できるよう、相談機関の連携に努めます。

子育て相談員の配置

- 子ども・子育てに関する情報を総合的に提供する相談員を子育て支援センター等に配置し、妊娠期から育児期まで切れ目のない支援体制を充実させます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
スマートフォン用子育て情報提供アプリの登録者数	H28 開始	9,000 人
子育てに関する相談対応件数	4,664 件/年	4,700 件/年

子育て・教育

主な事業	
子育て情報提供システムの構築	・高岡市子育て情報提供システムの効果的な運営

8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる

③ 安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実

現状と課題

- 安心して子どもを産み、子育て中の保護者が自分らしい生き方を選択しつつ、子どもが健やかに成長できる環境をつくるために、保健、医療、福祉、教育等を効果的に接続し、妊娠・出産・子育て等において、切れ目なく子どもと子育て家庭を支援する体制を構築する必要があります。
- 現在の子ども・子育てをとりまく課題を市民共通の課題として捉える必要があります。

施策の展開

安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実

- 妊産婦健康診査、乳幼児健康診査、訪問指導等における相談・支援の充実に努めます。
- 子育て支援に関する必要な情報やサービスを提供し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に努めます。
- 出産後、母子への心身のケアや育児サポートを行う産後ケア事業に取り組みます。
- 生後3か月までの乳児のいるすべての家庭を保健師等が訪問し、不安や悩みの相談に応じる事業の推進に努めます。

子ども・子育てへの経済的支援

- 子ども・子育てに要する費用の経済的負担感の軽減を図るため、保育料の軽減、児童手当、こども医療費助成、不妊治療費助成等を行い、必要な方が利用できるよう制度の周知に努めます。
- ひとり親家庭や生活困窮世帯等の子育てに関する様々な負担を軽減するため、子育て・生活支援、就労支援等の各種支援策の周知と適切な利用の促進に取り組みます。

障がい児の療育支援

○心身に障がいのある子どもに、医療と福祉（保育）、教育の三者を密接に結びつけた独自の療育方法により、診療、訓練、保育等、児童の発達に沿った支援を実施します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
子育てへの不安・負担度	44.1%	28.0%
生後3か月までの乳児のいる家庭訪問率	99.7%	100%

主な事業	
安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実	・乳幼児の健康診査、育児支援 ・母子保健相談・教育の推進 ・母子保健推進員への活動支援 ・妊産婦への定期的な健康診査・歯科検診 ・産後ケアの推進 ・保健師・助産師の訪問指導
子ども・子育てへの経済的支援	・不妊治療費助成 ・母子父子家庭の生活相談支援 ・児童扶養手当の支給 ・子ども・妊産婦医療費の助成 ・ひとり親家庭等医療費の助成 ・子どもの貧困対策の実施
障がい児の療育支援	・障がい児保育事業費の補助 ・きずな子ども発達支援センターを拠点とする児童の発達支援

8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる

④ 地域の子育て力の応援

現状と課題

- 社会状況やライフスタイルの変化などにより、地域社会のつながりが希薄になる中、子どもの集団経験も希薄になりつつあります。
- 保護者と行政だけでなく、関係機関や地域の人々が一体となって、社会全体で子どもや子育て家庭を支えていく意識を持つことが必要です。
- 地域が子どもを見守り、子どもが地域の中で育つ環境づくりが必要です。

施策の展開

放課後児童クラブの充実

- 年齢要件の拡大に伴う利用者ニーズの増加に適切に対応するため、小学校の余裕教室等を活用した放課後児童クラブ室の確保に向け取り組むとともに、民設民営による放課後児童クラブの導入を図ります。

子育て支援センターの充実

- 保護者が気軽に集い、相談できる地域子育ての拠点である子育て支援センターの充実に努めます。
- 身近な地域で相談支援が受けられるよう、市内保育所の子育てサロンを高岡子育て支援センターを拠点としたサテライト型施設と位置づけ、地域とともに子育てを行う環境づくりに努めます。

地域子育て広場の充実

- 子育て家庭の親子の相互交流や子育ての悩みを相談できる場づくり、ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て広場事業など地域で支え合う環境づくりを支援します。

要保護児童への支援

- 児童虐待の未然防止・早期発見、要保護児童とその家族への支援、社会的自立に至るまでの総合的な支援体制を充実します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
子育て支援の実感度	46.1%	52.0%
平日の 19 時までの開所が可能な放課後児童クラブの数	2 クラブ	10 クラブ

主な事業	
放課後児童クラブの充実	・ 放課後児童クラブの確保
子育て支援センターの充実	・ 子育て支援センターの拡充 ・ 育児教室の開催、人材育成に向けた研修等
地域子育て広場の充実	・ ファミリー・サポート・センターによる育児の相互支援 ・ 地域活動団体の子育て支援活動への助成 ・ 親など地域住民の参加による児童の育成活動の支援
要保護児童への支援	・ 要保護児童やその家族への支援、児童虐待の発生予防と早期発見

9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている

① 確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進

現状と課題

- 各学校では、学習における基礎・基本の徹底と自ら学び自ら考える力の育成に力を入れています。一方、児童生徒の学習意欲の低下や学習習慣が身に付いていないことなどの課題に対応するため、教師による学習指導の工夫とともに家庭と連携した学習習慣の確立に努めています。
- 社会環境の激しい変化の中で、児童生徒が豊かな人間性をはぐくみ、自ら学び、たくましく生きる力を身に付けることが求められています。また、規範意識や道徳心の希薄化、いじめ・不登校の深刻化、問題行動の低年齢化が懸念されています。
- 運動ぎらいや食生活の乱れから、生活習慣病の低年齢化や体力・運動能力の低下が見られます。
- 就学前の子どもの教育及び保育に対するニーズが多様化し、一人一人の子どもを取り巻く環境に合わせた総合的な子育て支援が求められています。

施策の展開

教員の指導力の向上・確かな学習指導

- 市教育センター等の教職員研修を充実するとともに少人数教育を推進し、児童生徒の基礎的基本的な学習内容の定着を図り、確かな学力をはぐくみます。
- 学校司書を専任配置するなど学校図書館機能の充実を図り、児童生徒の図書の利用を促進します。

学校等に対する支援・指導体制の充実

- 教育委員会や市教育センターの学校等に対する支援・指導体制を充実し、本市の教育大綱に基づき特色ある教育の一層の推進を図ります。

心の教育・道徳教育の充実

- 道徳教育の充実に努め、PTAや地域とともに行うボランティア活動等を通じて、豊かな心をはぐくむ教育を地域ぐるみで推進します。

- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員を中心とした相談体制を整備し、全教職員による組織的・協働的な学校運営を推進します。
- 「高岡市いじめ防止基本方針」に基づき、学校、家庭、地域関係機関が連携し、いじめの防止等の対策に取り組みます。

特別支援教育の充実

- 多様な障がいのある児童生徒に対する相談や支援体制を充実し、ボランティアの活用や関係機関との連携強化を図り、きめ細かな支援や指導に努めます。

健やかな体をはぐくむ教育の充実

- 学校体育における指導法の改善や地域人材活用などによる部活動の充実を図り、健康でたくましい児童生徒の育成に努めます。
- 定期健康診断や小児生活習慣病予防対策等により児童生徒健康管理の充実に努め、学校・家庭・関係機関と連携をとりながら健やかな心身の育成を図ります。
- 学校給食を通して家庭と連携し食育の推進に取り組み、地産地消を取り入れた安全で安心な給食の提供に努め、児童生徒に正しい食事のあり方や望ましい食習慣を学ばせます。また、給食調理業務の運営については、効率化とサービスの向上に努めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
教員研修評価アンケートにおける満足度	H28 開始	80%
児童・生徒 1 人あたりの学校図書貸出冊数	H28 開始	4.0 冊
学校給食に使用する地場産食材の品目	24 品目	26 品目

主な事業	
教員の指導力の向上・確かな学習指導	・ 少人数教室によるきめ細やかな指導 ・ 学校司書の配置による学校図書館機能の充実
学校等に対する支援・指導体制の充実	・ 理科教育の観察・実験を支援するアシスタントの配置
心の教育・道徳教育の充実	・ いじめ・不登校対策の実施 ・ 不登校児童生徒対策の実施
特別支援教育の充実	・ スタディ・メイトの配置 ・ 言語治療教室の運営
健やかな体をはぐくむ教育の充実	・ 部活動におけるスポーツエキスパート、文化部講師の配置 ・ 児童生徒の健康診断の実施 ・ 小児生活習慣病対策の実施 ・ 給食用調理機器等の更新、点検、修繕

9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている

② 地域に開かれた特色ある教育活動の充実

現状と課題

- 情報化や国際化の進展、少子高齢化の進行や地球規模での環境問題など子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化しています。そのような中で、自らの生き方を考え、社会に対する意識を高める教育が求められています。
- 高岡市には、豊かな自然と独自の文化やものづくりなどの伝統があります。それらを活かし、子どもたちの豊かな感性や郷土を愛する心の育成を図る必要があります。

施策の展開

情報化・国際化への対応

- ＩＣＴ環境の整備と活用を図り、児童生徒の情報活用能力や情報モラルの育成に努めます。
- 外国語指導助手（ＡＬＴ）※¹や小学校外国語（英語）活動講師を配置し、コミュニケーション能力の基礎の習得や国際理解教育の推進を図ります。
- 外国語（英語）教育推進委員会の機能を高め、小・中学校の英語教育の充実を図ることによって、高岡の歴史や文化・産業などを英語で表現しようとする児童生徒の育成に努めます。
- 外国人相談員等を配置し、外国人児童生徒への教育支援に努めます。また、生活面での習慣の違いを相互に理解し、ともに助け合いながら学ぶ姿勢をはぐくみます。

望ましい職業観と郷土愛の醸成

- 体験活動やボランティア活動を通じて、望ましい勤労観、職業観をはぐくむ学習の充実を図ります。
- 「ものづくり・デザイン科」の学習や越中万葉かるた大会への参加、サケの稚魚放流体験など、地域の文化や伝統及び自然の教材化を通して、豊かな感性や郷土を愛する心を育てます。
- 地域の身近な人々の生き方や考え方に触れる機会を増やし、環境教育や福祉教育を推進します。

※¹
外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流の推進を図るため、外国から招致した指導助手の名称（Assistant Language Teacher）

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
英検３級以上を取得している中学３年生の割合（英検３級以上相当の英語力を有すると思われる生徒を含む）	48%	54%
郷土に誇りを持つ心を育むことができた児童生徒・教員の割合	90%	90%

主な事業	
情報化・国際化への対応	・ＩＣＴ環境の整備と活用 ・外国語指導助手（ＡＬＴ）の配置 ・小・特別支援学校への英語講師の配置 ・外国人児童生徒に対する教育支援、指導
望ましい職業観と郷土愛の醸成	・「14歳の挑戦」事業 ・ものづくり・デザイン科の推進 ・スタンプラリー形式による高岡の歴史的風致の体験学習

9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている

③ 教育効果を高める教育環境の充実

現状と課題

- 少子化により、本市の小中学校では、多くの学校で児童生徒数が減少し、小規模化が進行しています。また、教育効果を高める学校運営や地域に開かれた環境づくりが求められています。
- 市内の小・中・特別支援学校の老朽化が進んでいるため、定期的な診断による劣化状況の把握と、計画的な施設改修が必要です。
- 近年、登下校時における事故や不審者の声かけなど犯罪被害の増加が懸念されています。

施策の展開

教育の多様化に対応する施設整備

- 児童生徒の安全で快適な教育環境を確保するため、校舎や体育館の老朽化対策に取り組むとともに、グラウンド、プール等の改修や教育設備の充実を計画的に進めます。

小中連携の推進

- 小学校から中学校へのスムーズなつながりを図るため、学習面や行事・体験活動等における小中連携を推進します。

余裕教室の活用

- 余裕教室の放課後児童クラブや防災備蓄庫としての活用や地域への学校開放を促進するなど、合理的な学校運営と効果的な住民サービスの向上に努めます。

家庭や地域における見守り活動

- 学校安全パトロール隊等との連携を推進し、児童生徒の登下校時の安全確保に努めます。

学校規模適正化

○高岡市立学校規模適正化の基本方針に基づき、良好な教育環境を維持するための最小規模に満たない学校について、規模適正化を図るため、計画的に高岡市立学校の統合に取り組めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
余裕教室の活用数	12 室	26 室

主な事業	
教育の多様化に対応する施設整備	・ 校舎・体育館の長寿命化対策 ・ 学校施設の修繕、給排水設備等の改修 ・ グラウンドの改修 ・ 野村小学校体育館改修 ・ 志貴野中学校校舎改修
家庭や地域における見守り活動	・ 地域ぐるみの見守り活動の推進
学校規模適正化	・ 学校規模適正化の実施

9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている

④ 高等学校・高等教育機関の充実・連携

現状と課題

- 高岡市内には 11 の高等学校（平成 29 年 4 月 1 日現在）と富山大学芸術文化学部、高岡法科大学及び各種専修学校などの高等教育機関があり、各校において特色ある教育が進められています。また、オープンカレッジや高校開放講座など、市民に開かれた学校づくりが行われています。
- 富山大学芸術文化学部とは平成 19 年に包括的な連携協定を締結し、高岡のもつ魅力に磨きをかけ、産業の振興、地域の活性化につながる研究事業を実施しています。この連携協力関係をもとに、平成 23 年 11 月には、富山大学との包括協定を締結しました。また、平成 23 年 4 月には、芸術文化学部に大学院芸術文化学研究科が設置されました。

施策の展開

高校教育との連携

- 小中学校の児童生徒を対象とする講座や交流活動などに協力します。
- 校外における職業体験や異年齢交流など体験的な学習活動に協力します。
- 市民の生涯学習の場として、高校開放講座などの実施に協力します。
- 私立高校に対する支援に努めます。

大学教育との連携

- 大学等が長年かけて蓄積した人材・情報・施設が、社会の資産として有効に活用され、地域振興の担い手となるよう産・学・官の連携に努めます。
- 富山大学芸術文化学部と芸術文化、教育・研究など幅広い分野において連携協力を進めます。また、高岡法科大学・富山県立大学との連携についても積極的に進めます。
- 小・中・特別支援学校での「ものづくり・デザイン科」の運営やまちなかの賑わいづくりなどについて、地域の協力を得ながら、富山大学芸術文化学部との積極的な連携を図っていきます。

○経済的理由により修学が困難な者や県外から高岡市内の大学等に進学した者に対して奨学資金を貸与し、卒業後本市に居住する者に対し返還免除による優遇措置を講じることにより、次代を担う有為な人材の育成・確保と定住人口の増加を図ります。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
大学と連携した事業への参加者数	260 人/年	360 人/年

主な事業	
高校教育との連携	・私立高校への特色ある地域活動や教育活動に対する補助
大学教育との連携	・大学と連携したまちの活性化等の研究・調査活動

① ライフステージに応じた生涯学習の振興

現状と課題

- 各地域に地域生涯学習推進協議会が設置され、市立公民館とその区域の自治会公民館や地域の諸団体の連携により、地域住民の自主的な学習や地域活動が活発に行われています。
- 生涯学習の成果を活かした地域づくりを推進するため、地域の人材や歴史・文化資産の活用が求められています。
- ライフスタイルや価値観の多様化、社会環境の変化により市民の学習意欲はますます増大しており、市民ひとりひとりのニーズに応じた学習の場と機会の提供を拡充していく必要があります。
- 生涯学習施設の機能の向上が求められているとともに、老朽化した施設について、計画的に整備を図る必要があります。

施策の展開

推進体制の充実

- 各地域の地域生涯学習推進協議会を中心とした地域に根ざした生涯学習活動の活性化を支援します。

公民館の連携

- 生涯学習センター、市立公民館、自治会公民館のネットワーク化を図り、高岡市公民館連絡協議会の活動を支援することにより、地域住民の生涯学習活動を推進します。

社会教育団体の連携

- 各種社会教育団体相互の連携を強化するとともに、生涯学習をテーマとした講演会や指導者研修会などの活動を活性化します。

人材の活用

- 多様な経験や技術を持つ地域の人材を活用するため、指導者やコーディネーター・ボランティアグループを育成するとともに、学習相談体制の充実に努めます。

多様な学習機会の提供

- 生涯学習センターやふくおか総合文化センター、公民館など各々の施設で特徴ある講座の開設や文化教室などの充実を図り、学習機会の提供に努めるとともに、インターネットなどを活用した学習情報の提供に努めます。
- 郷土の歴史、文化に対する理解を深めるとともに、市内外への情報発信に努めます。

生涯学習施設の整備・機能の充実

- 市立公民館については、既存館の機能維持に計画的に取り組めます。また、自治会公民館整備に対する支援を行います。
- 市立図書館では、蔵書の充実と、インターネットを活用した図書館サービスの向上に努めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
生涯学習センターの利用者数	254, 131 人	260, 000 人

主な事業	
推進体制の充実	・地域生涯学習推進協議会が実施する地域活動への支援
公民館の連携	・区域内公民館連携推進協議会の地域活動への支援 ・公民館フェスタの開催
多様な学習機会の提供	・生涯学習センターやふくおか総合文化センター等の大学連携講座や子どもたちを対象とした伝統文化講座の実施 ・Uの祭典の開催
生涯学習施設の整備・機能の充実	・図書、視聴覚資料等の充実

② 未来を担う世代の育成と 若者が主体となるまちづくりの推進

現状と課題

- 共働き世帯の増加や地域社会の変容等により、地域や家庭の教育力の低下や子どもたちの地域社会とのつながりの希薄化が懸念されており、地域全体で教育に取り組む体制づくりが求められています。また、有害な情報の氾濫や青少年が凶悪な犯罪に巻き込まれる事件の発生など、青少年を取り巻く環境も悪化しており、次代を担う子どもたちを社会全体で健全に育成することが求められています。
- 若者が地域の文化、歴史等への深い愛着と社会の一員としての自覚を持ち、積極的に社会参加ができる環境づくりが求められています。
- 生涯を通じて行う学習の場、生活を楽しむ環境づくりなど、若者にとって魅力あふれる環境整備を一層進める必要があります。

施策の展開

青少年の育成・支援

- 優れた人間性と豊富な専門的知識、指導技術をもつ指導者の育成に努めます。
- 学校・家庭・地域社会が連携し、青少年に体験活動の場と機会を提供することで、育成活動の活発化を図ります。

家庭・地域の教育力の充実

- 少年育成センターにおける「悩みごと相談所」の実施や街頭補導など、青少年を取り巻く環境の浄化に努めるとともに、関係団体と協力した啓発活動を推進します。
- 関係機関との連携や市民との協働により、公民館での子育て講座や三世代交流事業の実施、PTAによる家庭教育への支援など、家庭の教育力の向上に努めます。

- 地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、体系的・継続的なプログラムを実施し、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する土曜学習を推進します。
- 二上まなび交流館を青少年の健全育成や生涯学習を推進する場として有効活用を図ります。

若者主体のまちづくり

- 音楽活動など若者が主体的に取り組む文化イベントやまちづくり活動を支援します。
- 青年の家での各種学級・講座・教室の開催を通じて若者の交流を支援します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
土曜学習の実施校区数	8 校	18 校

主な事業	
青少年の育成・支援	・心を育む体験・交流活動の推進 ・ジュニア育成団体の支援 ・ジュニアリーダーの育成
家庭・地域の教育力の充実	・家庭教育推進サポーターの養成、情報交換会の開催 ・「少年なんでも相談所」の実施
若者主体のまちづくり	・音楽を通したまちづくり活動への支援 ・新成人の集いの開催

① 生涯スポーツ活動の充実

現状と課題

- 体力や年齢に応じて、生活の中にスポーツを組み入れ、健康で生きがいのある充実した暮らしを求める人が増えています。高岡市には、4つの総合型地域スポーツクラブ※¹や各校下・地区に体育振興会があり、地域住民が世代を超え、興味や目的に応じてスポーツに親しんでいます。
- 体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、各種スポーツ・レクリエーション大会やスポーツ教室などを開催しており、今後はさらに各団体との緊密な連携のもと市民のニーズに応じたスポーツ機会の拡充が求められています。
- 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、全国や世界で活躍する選手を育成するため、選手育成強化策の展開と指導者の育成や指導体制の強化が必要です。

施策の展開

スポーツ・レクリエーション活動の充実

- 生涯スポーツのニーズに応えるため、体育協会を中心にスポーツ推進委員や各種スポーツ団体と連携しながら、スポーツ活動プログラムの開発、各種スポーツ・レクリエーション大会やスポーツ教室の充実、スポーツ情報の提供などを行います。
- 地域住民が自主的に運営する総合型地域スポーツクラブ設立への支援と既存クラブの育成や各校下・地区における住民の生涯スポーツの普及・振興を図る体育振興会の支援に努めます。
- 市民のクラブ活動を支援するとともに各学校の体育施設の有効活用を図るため、学校体育施設開放事業の充実に努めます。

スポーツ指導体制の充実・競技力の向上

- 各競技団体や企業チーム等と連携した指導者の育成と小・中学生の一貫指導体制の充実に努めます。

※1
種目、年代・年齢、技術レベルの3つの多様性を持ち、会員である地域社会の個々のニーズに応じた活動を行う住民主体のスポーツクラブ。クラブの運営は、住民による自主運営。経費は自主財源(会費、事業収入、事業受託収入、協賛金等)により賄われる。

○全国大会等の開催や大会への派遣を支援するとともに、将来を担うジュニア層の競技力の向上を図ります。

○世界を舞台に活躍するトップアスリートを支援します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
体育施設の利用者数	836, 440 人/年	878, 850 人/年

主な事業	
スポーツ・レクリエーション活動の充実	・総合型地域スポーツクラブの設立支援や既存クラブの育成 ・学校体育施設の地域への開放による有効活用 ・富山マラソンの開催
スポーツ指導体制の充実・競技力の向上	・全国大会の開催及び派遣補助 ・ジュニア選手の育成強化 ・2020 年東京オリンピック・パラリンピックでの事前合宿誘致の推進

② スポーツ施設の充実と効率的な活用

現状と課題

- 高岡市のスポーツ施設は、市民体育館をはじめ、築後、長年経過している施設が多いことから、設備機能の維持向上を図るため、既存施設の整備・改修などを行っています。
- 近年、新たなスポーツ・レクリエーションへの市民のニーズが高まってきていることから、それに対応した施設の充実が求められています。

施策の展開

スポーツ施設の整備

- スポーツ活動の拠点となる総合体育館（仮称）の整備を行います。
- 既存施設については、全市的な配置を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドの視点を取り入れながら、計画的な維持・補修に努めます。

利用者サービスの向上

- 施設の利用状況等に関する総合的な情報提供システムの整備など、利用者サービスの向上に努めるとともに、引き続き学校体育施設の開放を行います。

まちづくり指標

指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
学校体育施設開放の利用者数	341, 340 人/年	362, 250 人/年

主な事業

スポーツ施設の整備	・ 総合体育館の建設
-----------	------------